

エスユー通信



社長挨拶

■ 今年一年間、ありがとうございました。

皆さん、毎日の作業お疲れ様です。

コロナに左右される生活が大きく変化することなく、1 年を終えようとしております。

昨年の年末の社内報のコメントと変わることの無いことが大変残念と思う事と同時に、その中でも 1 年間、皆様には無事に業務を遂行して頂きましたことに感謝を申し上げます。また、ご家族や関係者の皆様には、当社で従事する皆様にサポートして頂き御礼を申し上げます

■ コロナ禍の先にある問題について

さて、2021 年もコロナ禍の世の中に翻弄されながら、ワクチン接種等の効果もあり感染者減少で緊急事態宣言が終息し、昨年よりは本来の日常を取り戻しつつあります。

オミクロン株の問題や改善薬の普及など、まだ状況は混沌としており、景気回復の起爆剤となるインバウンドは海外の状況を鑑みますとまだ遠い道のりに思えます。

しかしながら、刻々と状況は改善の一途をたどり、トンネルの出口は見えてきたようにも思えますので、本当に来年こそは名実ともに、皆様と喜びを実感できる日が訪れることと考えます。

業界では 2024 年の労働時間短縮問題に伴う収入減少をいかに防ぐか、現在の作業をいかに効率化して、さらには無償化作業を有償化して収入を確保、或いは向上していくかなどの問題を抱えております。

いずれにしても、同業他社や地域の企業との「生活の安定性」、「働きやすさ」、「仕事に対する満足」といったワークライフバランスを整えることでの競争をし続けることはこの先も変わりません。

今いる皆さんの会社を今いる皆さん、これから入ってくる皆さんと一緒に、良い会社にすることを考え、変化させて行きたいと思います。

■ 年度末に向けての振り返りと計画を…

当グループの状況としましては、あと3カ月残しておりますが、皆様のご協力のお陰を持ちまして年間計画達成が見えてきております。これも、それぞれの役割の中で行動計画を実践し、内勤職の皆さんは外から収入を得るために営業と管理をすること、現場職の皆さんはお客様より引受けた仕事を安全に品質良く作業することをここまでは達成してきた結果です。計画を更に飛躍させるためには、9カ月間の行動計画の中で、成功したことは継続、進捗させ、失敗した項目は行動の仕方を変化させる必要があります。

特に、営業に携わってきた方は、結果が出つつありますので、来年の進化に繋げる行動。事務職の方は、作業を進める上でのルールや仕組みづくり、システム導入による効率化、計画全般の効果検証と来期計画や恒久的に繋げる行動。お客様のお仕事を現場で実践して頂いている皆さんには、安全面では労災を防ぐ予防活動、品質を上げる為の運転技術、作業技術の向上を図り、本当に事故の起きない職場、お客様に満足して頂ける取組、自分達が自信を持てる取組を続け、結果に結びつけて頂きたいと思います。

まずは、残り少ない 12 月を安全に健康に乗り越え、明るい笑顔で皆さんが新年を迎えられます事を祈念致します。

本年もグループ全社員の皆様とご家族、関係者の皆様にはお世話になりました。来年も宜しくお願い申し上げます。

インタビュー

川越事業所

品質管理

前年比事故削減が全事業所の中で1番の川越事業所の所長・品質委員にお話を伺ってきました。



品質委員

中村 信枝さん

2016年5月入社



所長

川原 英樹さん

2013年12月入社

— 川越事業所の雰囲気を見せて下さい。
中村 ドライバー同士が仲が良いです。グループライン等で連絡を取り合っていたり、仲間意識があると思います。

— 川越事業所は、前年比事故削減が全事業所の中で一番ですが、どういった取組みをされていますか。

川原 去年は労災事故や車両事故も多く、今後どの様に改善していくかを、品質担当と一緒に考えました。一つは、毎月安全の日に立ち合いをしています。(荷主先や事故発生現場、車の台数が多い所)また、事故の報告書の聞き取りを所長が対応するという以前のやり方を班長や品質担当が行うことへ昨年から変更をし、継続して行っています。

中村 安全の日には必ず、朝から立ち合いをし、荷締めの方法等、基本的な動作の確認をし、間違っ覚えてしまっていることをその場で正しいやり方へ指導しています。また、協会の社さんの装備の確認等もしています。

— 事故対策で一番気を付けていることはなんですか。

川原 「やれ」と頭ごなしに言うのではなく、何故大事なことなのか、する必要があるのかを説明して、理解をもらうことです。一度でわかってももらえとは思わず、現在で二年目なので、三年かけて体制を整えていけたらと思っています。

中村 決まりだからルールだからと押し付けるのではなく、最終的に自分を守る為

です。その人に合った伝えやすい言葉で注意をしています。また、繁忙期には、周りの空気に流されないように、平常心を保てるように、声掛けをしています。当たり前と思われることですが、そういったことを所長と相談しながら、継続して行っています。

— 繁忙期に向けてどのような取組みをしますか。

川原・中村 忙しくなっていくと、何か手間を省きたくなりいつもと違うことをしても目が向きづらいので、これまでしてきたことを継続する、してもらいことです。気持ちが悪くせかしてるときは新しいことをしたくなってしまうですが、あえて、やらない勇気を持つ。常に川越事業所の仲間が取り組めることを考えて、実行することは普段の活動の中でも大切にしています。

— 社内報を読んでいる皆さんにメッセージをお願いします。

中村 他の方より品質委員になって日が浅いので、班長さんともっと気持の距離感を縮められるような環境作りをしていきたいです。

川原 「まずは始めること・それを継続すること・続けることを疑問に思わないこと」去年から様々な課題があり、結果が出ない時は続けることに疑問を持つてしまったのですが、この言葉を大切に活動をしてきました。壁にぶつかった時こそ、その問題を解決できる機会だと思っています。事業所の仲間の出来ることを伸ばして、出来ないことをカバーし、仕事を任せるといことを今後川越事業所の所長として継続して行っていくます。

この他にも、様々な質問に答えてくださったお二人。とても勉強になるお話ばかりでした。今回は、その一部分をピックアップさせて頂きました。川原所長、中村さん、ありがとうございました！

給与明細電子化・システム切り替えについて

給与システム変更に伴い **2022年1月25日** より給与明細の切り替えが行われます。従業員の皆様には新たにログインが必要になりますが具体的な操作などは1月中旬頃にお知らせいたしますのでご協力頂きますようお願いいたします。



お知らせ

